

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

ひじり かわ あや こ

今回の題字は、**聖川 絢子**さん(美土里小学校6年生)です。



吉田運動公園  
みつやの里スポーツクラブ少年サッカー(U-10)交流会

9月定例会 ..... 2~7

委員会審査報告 ... 14~19

一般質問  
12人が**市政を問う** ..... 8~13

開かれた議会をめざして  
**シリーズ議会改革** .. 20~22

あんな こんな  
**地域のががやき** ..... 26

第31号

2011(平成23)年11月1日発行

可決

賛成 17  
反対 1

(現在 20人)

18人へ!

9月定例会

9月定例会を、9月9日～10月4日までを会期として開催しました。

一般会計を含む14会計の22年度決算が上程され、決算常任委員会へ付託しました。

本会議最終日において、14会計すべてで賛成多数で認定しました。(決算常任委員会の審査は4～6ページに掲載)

一般会計補正予算ほか21議案(うち議員発議3件)、諮問1件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。(予算常任委員会の審査は7ページに掲載)

一般質問では、12人が市政を問いました。(8～13ページに掲載)

議会改革特別委員会で協議された「議会改革に係る調査」について、議会改革特別委員長が報告しました。(報告の内容は20～21ページに掲載)

議員より、議員定数を削減する条例改正案が提案され、賛成多数で可決しました。

議員発議 (3件)

● 拡大生産者責任 (EPR) 及びデポジット制度法制化を求める意見書について

討論なし 全員賛成

● 議会の委任による専決処分事項の指定について

討論なし 全員賛成

● 安芸高田市議会議員定数条例の一部を改正する条例

討論なし

賛成 17

前重、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山根、宍戸、山本、前川、秋田、青原、金行、入本、今村、亀岡、塚本

反対 1

赤川

(付議された案件)

- 認定第1号 平成22年度 安芸高田市一般会計決算の認定について
- 認定第2号～認定第13号 平成22年度 特別会計決算の認定について (12特別会計)

諮問 (1件)

● 人権擁護委員の推薦

松林祥子さん

吉田町上入江

同意

ひとくちメモ

- 拡大生産者責任 (EPR) 製品の生産者が、その製品の再利用や処理についても責任を負うという考え方
- デポジット制度 「預り金制度」と訳され、ジュース等の飲み物代金に容器代も含まれ、容器を返却した際に代金が返ってくる制度。

# 議員定数



- 認定第14号 平成22年度 安芸高田市水道事業決算の認定について（公営企業会計）
- 諮問第4号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第65号 安芸高田市基幹集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 議案第66号 安芸高田市地区集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 議案第67号 財産の無償譲渡について【上佐々井集会所・中佐々井集会所・北原集会所・高田原多目的集会所】
- 議案第68号 財産の無償貸付について【上佐々井集会所・中佐々井集会所・北原集会所・高田原多目的集会所】
- 議案第69号 安芸高田市総合計画審議会条例の一部を改正する条例
- 議案第70号 三次市の公の施設の設置に関する協議について
- 議案第71号 安芸高田市特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第72号 財産の無償譲渡について【甲田浅塚公民館】
- 議案第73号 財産の無償貸付について【甲田浅塚公民館】
- 議案第74号 平成23年度 安芸高田市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第75号 議案第82号 平成23年度 特別会計補正予算（各第1号）（8特別会計）
- 議案第83号 平成23年度 安芸高田市水道事業会計補正予算（第1号）（公営企業会計）
- 発議第6号 拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書について
- 発議第7号 議会の委任による専決処分事項の指定について
- 発議第8号 安芸高田市議会議員定数条例の一部を改正する条例

# 歳出総額 346億7416万円

市民1人あたり支出額 110万円 (人口:23年3月末31,565人)

# 認定

## 決算常任委員会

9月9日の本会議において審査を付託されました22年度一般会計・特別会計決算について、9月26日・27日・28日の3日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 亀岡 等  
副委員長 児玉史則  
委員 議長・監査委員を除く  
全議員

## 一般会計

### 総務部

山根・秋田 高齢者ドライバーの運転免許返納状況は。

### 行森危機管理室長

23年度からの制度の取り組みで、75歳以上35人が返納。

宍戸・赤川 自主防災組織の設立状況は。

### 行森危機管理室長

22年度末で59組織、23年8月末現在で67組織、67・7%となった

ている。

児玉 従来の防犯灯をLED化に推進しているが、その費用対効果は。

### 行森危機管理室長

従来より電気代が3割程度安くなると考えている。

石飛 公有財産台帳の作成状況は。

### 児玉財産管理課長

旧町の財産管理台帳を、システム化のためパソコン入力しているが、完成は24年度の見込み。

### 企画振興部

前重・児玉 電算システム事業で、災害等でデータが破壊されることへの対応策は。

### 広瀬情報政策課長

定期的に本庁舎以外の支所へデータ保管している。



太陽光による発電

### 消防本部

前重 新規の消防関係業務指導員設置事業で、消防OBは何人任用か。

### 村岡予防課長

現在1人で対応している。

### 市民部

山根・秋田 自主的リサイクル活動団体への資源回収助成金の今後の方向性は。

### 新川市民部長

取り組みが増えており、今後も引き続き行いたい。

金行 太陽光発電補助申請件数は。

### 久保市民生活課長

22年度実績は107件となっている。

22年度決算

# 歳入総額 359億1216万円、

歳出の対前年度比 12.1%、37億4870万円増、



増加傾向にある生活相談

□福祉保健部  
前川 生活相談件数の状況は。

佐々木社会福祉課生活福祉係長 22年度は窓口相談件数97件、うち申請件数40件。開始は36件で廃止件数は29件、このうち死亡件数は8件となっている。

前重・入本・秋田

ファミリーサポート事業で24時間預かりを始められたが、その利用状況は。可愛川子育て支援課長 22年度は育児の支援を受けた希望者80人、援助を行いたい人が69人登録され、相互援助活動をしていただいている

が、夜間預かりはない。

山根 家庭児童相談事業で相談された方への対応は。

武岡福祉保健部長 相談件数の増加と内容の複雑化で横のネットワークの仕組みを立ち上げる予定である。

入本 プール健康教室への参加が少ないが。

中元保健医療課長 今後、あらゆる機会を利用し広報活動を行いたい。

□教育委員会

水戸・先川 特色ある学校づくり事業で、22年度は小・中学校3校が小中連携事業に取り組んでいるが、全校での取り組みは。大下学校教育推進室長 22年度はモデル的に行ったが、今後



子どもの育成に活用（少年自然の家）

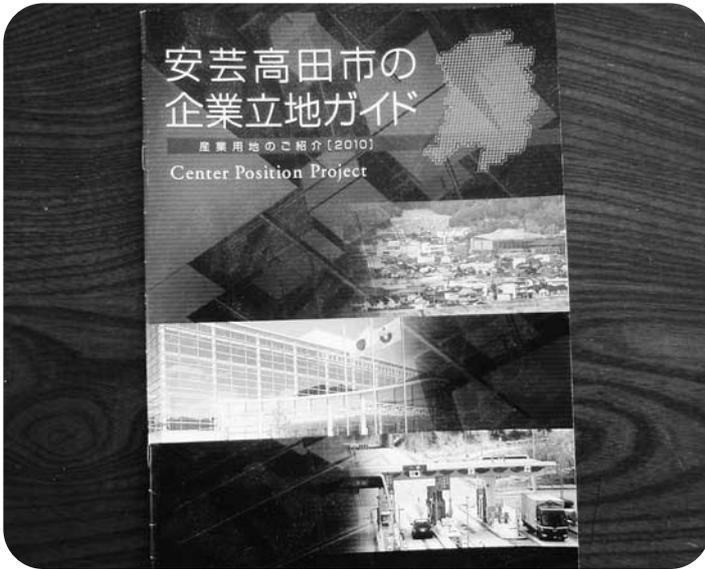
ほどの学校区も小中連携を推進する。

山本・先川 少年自然の家の利用児童数が減少する中、どのような対応をするのか。

溝下生涯学習課長

市子ども会連合会への活動支援と通学合宿などの支援で利用促進を図る。

# ジェネリック医薬品の促進で医療費削減



企業立地で雇用の確保を

□産業振興部

**秋田** 中馬農道に堆肥のストックヤードが建設されたが、今後の展開は。

**清水産業振興部長**

吉田・八千代地域への堆肥散布拠点と考えている。

**秋田** 地籍調査事業の今後の見通しは。

近永農林水産課長

せっかく調査しようとしても境界が決まらず事業着手できない状況である。

**青原・先川** 企業誘致のためには思い切った施策をする覚悟は。

**藤川副市長** 企業立地についてはいろいろと努力している。

□建設部

**入本** 市内には電子入札システム未登録業者が20社程度あるが、勉強会の実施とその方向性は。

**増田管理課長** 毎年説明会を行っており、今後も引き続き行う。

**前重・先川・入本** 市有郡山住宅へエレベーターが設置されたが、入居率が低い原因は。

**青山住宅政策課長** 購入時で34戸の入居からエレベーター設置等により57戸まで増えた。エレベーター設置で上階への入居が増えている。

■特別会計

□国民健康保険

**山根** ジェネリック医薬品の促進で、その効果は。

**中元保健医療課長**

22年度605万円の削減。



エレベーターの設置で利便性向上（市有郡山住宅）

減。23年度は8月末時点ですでに600万円の削減であり、本年度末には1200万円の削減となる見込みである。

**上本上下水道課特命担当課長** 関係する特別会計のあり方について、国の動向を踏まえて検討する。

□農業集落排水事業

**塚本・赤川・山本**

維持管理費がかかるなか、今後使用料はどうするのか。

23年度補正予算

# 25億1291万円追加

(総額:250億7659万円)

主に、光ネットワーク整備へ (24億4500万円)

可決

予算常任委員会

9月9日の本会議において審査を付託されました22年度一般会計・特別会計補正予算について、9月16日に委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 赤川三郎  
副委員長 水戸眞悟  
委員 議長を除く  
全議員



省エネ推進 LED防犯灯

■一般会計■

□総務部

前重 LED防犯灯の充足率は。

行森危機管理室長

約45%、引き続き整備する。

□企画振興部

青原・秋田・石飛・今村・金行 光ネットワーク事業の委託料は。また、事業費

は。 竹本企画振興部長

市民ニーズ把握のためのアンケート調査委託料で年内にまとめる。財源は合併

特例債を充当する。

山根 太陽光発電システム促進事業の実績と計画は。

久保市民生活課長

昨年度実績107件、本年度100件の予定。

□福祉保健部

秋田・前重・石飛・山本 地域密着型サービス事業所整備補助金の補正は。

岩崎高齢者福祉課長

県の要綱改正によるもので、当初予算計上した事業所への増額である。

石飛・前重 農地保全対策の手法は。

猪掛地域営農課長

国費ではワイヤーメッシュのみ、単市費ではトタン等も対象としている。受益戸数は2戸以上。

水戸 市内のくくりわな禁止区域は解除か。

近永農林水産課長

本年度狩猟期から解除予定。

前川 地産地消推進事業補助費は。

猪掛地域営農課長

白ねぎの価格補償資金とJAそば部会へのコンバイン導入補助。

建設部

青原 市道の維持管理の優先順位は。

西原建設課長

各支所からの要望を取りまとめ、緊急性を勘案し事業実施に努めている。

教育委員会

先川 市内中学校の暴力事案のその後は。

大下学校教育推進室

家庭訪問を続けている。

国民健康保険

山根 国保会計における医療費増への対策は。

中元保健医療課長

健康づくり事業の成果に見直しをかけて推進する。

介護保険

山本 介護保険特別会計へ一般財源からの繰り入れルールは。

岩崎高齢者福祉課長

人件費に充当するもので、法的な判断を順守する。



有害鳥獣被害対策の強化

# 市政を問う

人口増

## 対策は全市民で

市長／市民と協働で



亀岡 等  
(市民クラブ)

**亀岡** 市の人口問題は本市が直面している重要な課題である。人口増対策をまちづくりの主要な柱と位置づけ、全市民に協力を呼びかけられてはどうか。

**市長** 広い意味で言えば行政施策すべてが人口増対策だが、市民と行政の協働で進めていく必要があると考える。



未来をになう子どもたち

**亀岡** 総合計画見直しについての考え方では、人口減少に歯止めをかけることこそ行政最大の課題と強調されているが、市民への周知は不足している。

**市長** 施策や考え方の周知については更なる努力をしていく。また、これを契機に住民の協力を得るような仕組みを考えていきたいと思う。

## スポーツ少年団

### 行政としての支援は

### 教育長／引き続き財政的支援も



宍戸 邦夫  
(無所属)

含め、心豊かに健康で生きがいのある生活が見いだせるような市民をつくる努力をする。

**宍戸** 「スポーツ振興法」が全部改正されたが、市の「スポーツ振興計画」の見直しは。  
**教育長** 国や県の動向をみながら判断したい。



老人クラブとスポーツ少年団の交流会

**宍戸** 少ない中学生生徒、限られたクラブの中で、クラブ活動のみ他の市内の学校に行けるシステムがでないか。  
**教育長** 現在考えていない。小学校の段階で指定校以外の市内の中学校に希望があれば行ける方法を講じている。

# 一問一答

# 12人が

**今村** 新こども園への転換について、どのように考えられているか。

**市長** 保育所規模適正化推進計画で保護者ニーズを調査し、幼保一元化を推進し、民営化も考え、0歳



**今村 義照**  
(あきの会)

## 教科書

## 選定は

**市長／選定委員会の設立で**

**今村** 財政健全化に向けた将来負担に対する方策は。

**市長** 事業の平準化、公債費の抑制、継続的な繰り上げ償還等の実施と事業選択で対応したい。

児、小規模保育など市独自の施策も考えたい。

**今村** 中学校の歴史・公民教科書採択にあたり、どのような視点で選定され、「社会参画」の観点は留意されたのか。

**教育長** 選定委員会を設定し、社会の形成に参画する資質や能力が公民の分野で問われているが、対立と合意、効率と公正など議論があった。採択は学習内容の工夫、言語活動の工夫などが盛り込まれている点が評価された。市民には情報公開していきたい。



**水戸 眞悟**  
(絆)

## 地域課題

## 燃料供給不安定 地域対策は

**市長／地域振興の観点で  
取り組む**

**水戸** 中国地方においてガソリンスタンドが減少している。GS過疎地に対する総合的な対策が必要ではないか。

**市長** 原油価格の高騰等の要因で、ガソリンスタンドの経営環境が厳しくなっている。まちづくりの推進とあわせ検討する。

地域対策に取り組んでいるが行政的支援が必要ではないか。

**市長** 生桑振興会と市や農協等も加わった共同体で経済産業省の燃料供給不安定地域対策事業に取り組んでいる。農業資材や日用品の買い物などの機能も含め安心して暮らせる仕組みを構築する。

**水戸** 美土里町生桑地域において地域主導で燃料供給不安定

**水戸** 東日本大震災直後に

旧県立高宮高校に被災者の受け入れを想定して策定した安芸高田市小学校まるごと集団疎開プロジェクトの取り組みの結果を問う。

**市長・教育長** 東北3県に対して受け入れ情報を発信してきた。現時点で集団疎開の要請はない。引き続き受け入れ体制を維持する。



存続が望まれる生桑ふれあい店とGS

## 市長選挙

### 次期の進退と決意は

市長／新市建設計画推進を担いたい



**金行 哲昭**

(政友会)

**市長** 自主防災組織の充実を推進し、自助・共助・公助の三つの柱が相互の役割をし、正確な情報を伝達する。

**金行** 情報の取り扱いに対する見解、公開の考えは。  
**市長** 情報は、プライバシーなど守秘義務を必要とする保護以外は、行政情報として基本的にはオープンとする。

**金行** 「安心して暮らせるまちづくり」を着実に実施されているが、次期市長選挙にあたり進退と決意は。  
**市長** 行財政改革による健全財政を前提にした新市建設計画を推進するため、次期市政を担わせていただきたい。



自主防災のAED体験 (防災フェスタにて)

## 自主避難者への対応は

避難所

市長／早速検討



**青原 敏治**

(あぎの会)

**青原** 災害時の避難所の対応について、自主避難者への対応はどのようになっているか。  
**市長** 自主避難は、自助・共助・公助の観点から「自助」の部分と考え、自主防

災組織活動で強く推進している。避難者の情報把握や安否確認を行い、長期避難が予想される場合は、必要な物資の調達を行っている。  
**青原** 今回の台風では、八千代町において1名が自主避難されたが、避難場所には職員もいない状況であった。たとえ自主避難であれ、誰か

居る状況が必要。市民の防災意識高揚のための啓発活動が必要と思う。  
**市長** 自主避難者への対応は行政の課題として検討課題とさせてもらいたい。市民の防災意識が高まっている時こそ啓発が必要。自主避難しやすい仕組みづくりも必要で、指摘のことについては、早速検討したい。



土石流メカニズム模型 (防災フェスタにて)

若者定住対策

サッカーアカデミー  
招致は

市長／引き続き協議を



前重 昌敬 (絆)

**前重** 日本サッカー協会（JFA）サッカーアカデミー招致について、調査研究事業の進捗状況また、誘致の方向性は。  
**市長** アカデミー誘致については、多大な事業効果が期待できると思う。引き続き関係機関と協議を重ねていきたい。

**前重** 吉田町竹原地区の道路整備促進について。



歩道整備が待たれる、一般県道上入江吉田線

**市長** 交差点の隅切り、待避所の設置等、広島県と現状、対策について協議検討が必要であると認識している。必要があれば整備の促進を要望していきたい。

エネルギー政策  
への対応は

市長／国の動向を踏まえ対策

自然エネルギー



秋田 雅朝 (政友会)

**秋田** 再生可能エネルギー特措法成立に対応した取り組みの見解は。  
**市長** エネルギー関連産業は、地域に経済・雇用効果が期待でき、国の動向を踏まえ対策を講じたい。



市営の大規模太陽光発電装置（山梨県北杜市）

**秋田** 太陽光発電の今後は。  
**市長** 設置補助を考えているが、組合設立による補助整備の手法などで促進を図りたい。

**秋田** 小規模水力発電に取り組みはどうか。  
**市長** 費用対効果を考え、調査から始め、基本的な課題を審議

したいと考えている。  
**秋田** 緑の社会資本である森林の保全・荒廃防止対策には、森林面積に対する計画的な取り組みが必要では。

**市長** 森林も大事なエネルギー資源と考えられる。整備面積は把握できるが、ま

# データ化による 施設管理は

老朽化

市長／これからスタート



山根 温子

(無所属)

**山根** 平均より高い53・1%の資産老朽化比率は、合併により重複した施設が要因。74の公共施設に占める築31年以上の施設は28。約4割を占めるが、施設資産の運営維持管理とデ



公共資産合計 約1,380億円 (21年度)

ータ化は。

**市長** 施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営を調査研究し、適切な管理を行う。もちろんデータ化も必要。

**山根** 男女共同参画推進条例に基づく年次報告が遅れている。次年度の事業推進に活かせる時期にするべきでは。

**市長** 22年度の年次報告は、10月から作業にとりかかり、早急に報告。

**山根** 小学校規模適正化のこれからの展開は。  
**教育長** 今年度は推進計画の説明の年。課題を踏まえ、市全体としての方向を定め、合意形成を得られるよう進めていく。

# 休眠施設

## 跡地の利活用は

市長／再生に全力



山本 優

(絆)

の研修施設として活用予定。

**山本** 救急搬送システムについて、患者優先で搬送先を選べないか。

**市長** かかりつけの病気の悪化、継続治

療の場合等、かかりつけの病院を優先して搬送できる仕組みにはなっている。

**山本** 障害者支援制度、ガイドヘルパーについて、もっと利用しやすい制度はできないか。

**市長** 公共交通機関の利用が基本であり、道路運送法もあり実態を調査しながら今後検討。

**山本** 四季の里農園のその後については。  
**市長** 破産手続きが完了し、今後は担い手育成、農業後継者



土師ダム人工スキー場跡地

**市長** 23年度は計画策定時に判明していなかった事業の追加などあり、目標をオー

**児玉** 23年度当初予算は目標を4%上回ったが、24年度の目標値に対する当初予算の考えは。



**児玉 史則**  
(絆)

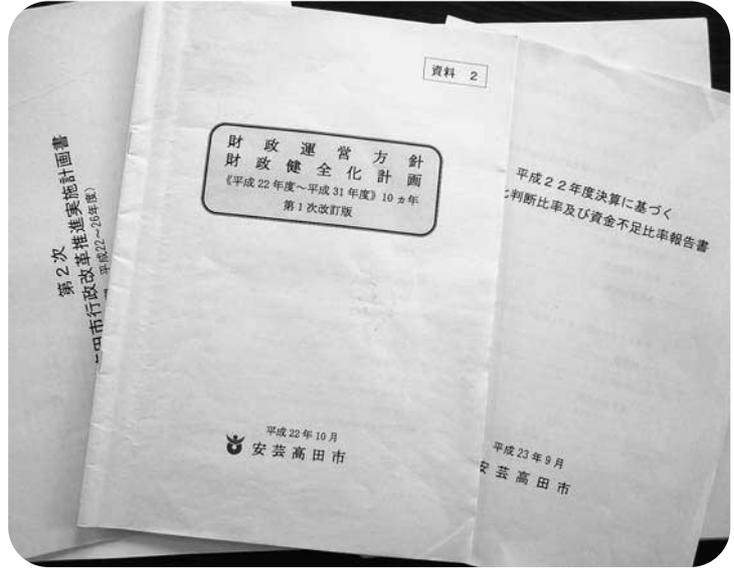
財政健全化計画

24年度計画目標に対する認識は

市長／目標数値を管理

**児玉** 24年度には国保財調基金が枯渇し、国保税率を上げるか一般会計からの繰り

出しが必要。今後の財源確保の考えは。  
**市長** 合併時の基金10億円が、合併以来保険料を上げなかったため枯渇した。一度に上げることは難しい。市民への現状説明や、繰り出しの方法を勉強し、納得のいく国保税を決めていく。



将来の財政運営を健全に

**入本** 23年2月の向原中学校生徒議会で、

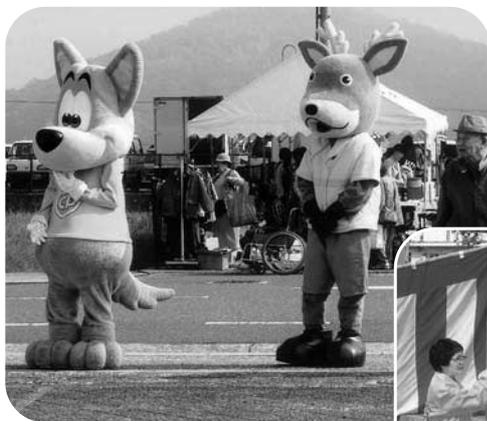
**市長** 大変興味を持って視察し、ごみの減量化の一環として挑戦したいと考えている。

**入本** 紙おむつのリサイクルプラントを市長も視察されたが、安芸高田市で事業化すれば、投資効果とごみの減量になると思うが。

**入本** 特色ある地域事業について。  
**市長** 各地域の提案型の事業なので、地域活性化のために、良い提案なら積極的に補正予算してでも協力し、支援する。



**入本 和男**  
(あきの会)



こうだわいわい祭でにぎわいを見せるキャラクター



市のキャラクターの実現を

環境

紙おむつをリサイクルに

市長／ごみの減量に挑戦

小中学生が興味を持つ情報と「市のキャラクター」の要望があったが、ぜひ実現を。

**市長** この問題は慎重に調査して、市としてのキャラクターが必要な場合は提案する。

総務企画常任委員会

9月定例会での付託案件はなく、所管事務調査5件について、9月20日に委員会を開いた。

(所管事務調査)

- 向原生涯学習センター整備事業について
- 土師ダム周辺整備事業について
- 第2次安芸高田市行政改革推進実施計画について
- 補助金整理合理化プランについて
- 光ネットワーク整備事業について

委員長 秋田雅朝  
副委員長 前重昌敬  
委員 先川和幸  
山本優  
赤川三郎  
今村義照  
藤井昌之

【向原生涯学習センター整備事業について】

- 向原町生涯学習センター建築工事設計業者：株式会社エヌ・エス・ピー
- 設計業務落札金額：23,625,000円
- 向原町生涯学習センター建築工事基本設計検討委員会の設置
- 概略スケジュール：平成24年1月末実施設計業務終了

【土師ダム周辺整備事業について】

- 土師ダムサイクリングターミナル建築工事設計業者：株式会社エヌ・エス・ピー
- 設計業務落札金額：9,135,000円
- 土師ダムサイクリングターミナル建築工事基本設計検討委員会の設置
- 概略スケジュール：平成24年2月末実施設計業務終了

質疑

〔向原生涯学習センター整備事業〕

先川 テニスコートの今後の考え方は。

山平政策企画課長 市内には他にもテニスコートがあるので、そちらの利用をお願いしたい。

今村 ホールの特徴は。

山平政策企画課長 ホールの収容人員は450名程度とし、可動席と固定席の設置により多目的な利用を可能とする。



協議が進む向原生涯学習センターの完成予想図

【光ネットワーク整備事業について】

- 整備方式：幹線支線を光ファイバー網整備及び一部無線
- 伝送速度：100Mbps（上り・下り）を予定
- 告知機器：各戸に双方向が可能なディスプレイ付き1P告知端末（A4サイズのTV電話）導入
- 整備後の運営：公設民営
- 概略スケジュール：平成25年度整備完了予定

ひとくちメモ

- 「光ファイバー」とは？  
光を導く繊維という意味
- 100Mbpsとは？  
「1秒間に送ることができる100MB（メガバイト）データ量を示す」

	第1工区 〔23年度予算〕	第2工区 〔24年度以降予算〕	合計
整備地区	吉田町・八千代町・美土里町・高宮町	甲田町・向原町	
世帯数	9,228世帯	3,994世帯	13,222世帯
事業費	25億4,200万円	14億5,800万円	40億円

【研修報告】

総務企画常任委員会

# 先進地視察

こうしし 合志市(熊本県)、 あそし 阿蘇市(熊本県)

8月2日～4日

視察地	視察テーマ	市への提言
<p>熊本県 <b>合志市</b></p> <p>人口：56,010人 世帯数：20,806世帯 面積：53.17km<sup>2</sup></p>	<p>◇行政評価システムと議会との関わり ◇システムの手法・課題</p> 	<p>◇総合計画と連動した行政評価システムの構築がなされている。 ◇わかりやすく透明性の高い行政運営、市民起点での行政体質改革、政策の再構築と将来につけを残さない事業の選択、職員間の共通言語としての活用・情報の共有化が原点となっている。</p>
<p>熊本県 <b>阿蘇市</b></p> <p>人口：28,647人 世帯数：11,033世帯 面積：376.25km<sup>2</sup></p>  <p>阿蘇テレワークセンター</p>	<p>◇基本計画から実施計画までの問題点 ◇光ネットワークの特徴的な活用方法 ◇光ネットワークの運用経費</p>  <p>ディスプレイ付きIP告知端末 (テレビ電話)</p>	<p>◇光ネットワーク利活用については、こどもからお年寄りが簡単に使え、PTA同士の連絡、市等からのお知らせ等、活用が様々である。 ◇整備後のランニングコスト(維持管理費)等、思った以上に経費が掛かる。 ◇地域・団体での集まりに積極的に出向き説明を行ったほか、各区長や民生委員等に協力を要請しほぼ全ての世帯に設置が完了し、当初見通しの加入率より上がっている。</p>

市への提言	
<p><b>安芸高田市</b></p> <p>人口：31,497人 世帯数：13,222世帯 面積：537.79km<sup>2</sup></p>	<p>《行政評価システム》 ◇行政評価システムの外部評価を行うことにより、市民の前に行政の執行状況が公開され、政策・施策・事業の成果、及び業績効果を検証し、目標達成度の評価が次年度施策マネジメントにつながる。</p> <p>《光ネットワーク整備事業》 ◇市民へ専門用語を使用しない漫画風な絵等でデザインした光ネットワーク整備事業の情報提供。 ◇概算費用、運用経費等市民負担の有無など、早めの情報提供、加入に向けての説明を行っていく。</p>

文教厚生常任委員会

9月定例会で付託された案件はなく、送付された要望1件を、9月21日に委員会を開き慎重に審査しました。

(審査した要望書)

○拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について

委員長 青原敏治  
副委員長 穴戸邦夫  
委員 児玉史則  
委員 水戸眞悟  
委員 山根温子  
委員 金行哲昭  
委員 塚本近

要望

◎拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について

要望者：福岡県 筑後市長、福岡県 大川市長、福岡県 大木町長、環境自治体を目指すちっこ委員会委員長

要旨：一般廃棄物の処理やリサイクルに係る負担は、自治体財政を圧迫する大きな要因となっている。

ゴミのポイ捨て・不法投棄の増加も自治体や住民にとって深刻な問題となっている。

ゴミ問題の解決は、入口対策を行うことが有効と考えられる。

これらのことから、経済協力開発機構が提唱する「拡大生産者責任」と「デポジット制度」の法制化を求める意見書を、国の機関に要望するよう求めるもの。

上記の要望は、委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関(国)に意見書を提出することとしました。



きれいセンターでの処理状況

# 先進地視察

かけがわし 掛川市(静岡県)、 ぼくとし 北杜市(山梨県)、 ふなばしし 船橋市(千葉県) 8月23日～25日

## 各市の概況

	人口(人)	世帯(戸)	面積(m <sup>2</sup> )	一般会計予算	研修の目的
掛川市	115,248	39,070	265.63	419億8000万	幼稚園・保育園の再編に向けて
北杜市	49,034	20,230	602.89	270億 159万	環境教育(太陽光の活用)
船橋市	610,282	262,911	85.64	1719億7000万	国際化教育(多文化共生)
安芸高田市	31,497	13,222	537.79	223億9390万	

## 研修内容

### 掛川市(静岡県) 【幼保一元化関係】

#### ○保育一元・幼保一元特区(H14年度～)

**概要** 12年度に策定した「掛川市幼児教育振興計画」に基づき、幼稚園・保育園の再編を行い、幼稚園、保育園の一元化を実施している。

**まとめ** 安芸高田市においても、引き続き幼児教育のあり方を考慮し、より充実したものにすする取り組みが必要。

### 北杜市(山梨県) 【環境衛生関係、環境教育関係】

#### ○大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究(H18年度～)

**概要** 太陽光パネル設置による市営のメガソーラー発電所を運営し、一般家庭570軒分の電力供給を行っている。

**まとめ** 安芸高田市でも22年度から住宅用の太陽光発電機器設置等に補助を行っているが、今後飛躍的に太陽光発電の導入量を増加させるためには、発電所のような大規模太陽光発電設備が不可欠と考えられ、課題が大きい。

#### ○エコスクール・パイロットモデル事業(H17年度～)

**概要** 小中学校22施設への太陽光パネルの設置により、エコスクールとして学校の電力をまかなうとともに、環境教育を実践。

**まとめ** 恵み豊かな環境を未来に継承するために、学校における環境学習は大きな効果が期待できる。

### 船橋市(千葉県) 【国際化教育関係】

#### ○英語教育特区の指定による小中一貫英語教育(H18年度～)

**概要** 将来、国際社会において活躍する「英語を話せる船橋の子ども」の育成をめざし、市内小中学校において英語教育を推進し、実践的コミュニケーション能力を身につける。

**まとめ** 安芸高田市は多文化共生の取り組みを行っている。国籍や民族などの異なる人々が互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きるためには、自分や他人を紹介したりするなど、簡単なやりとりができることが大切であり、そうした教育が必要である。

【研修報告】

産業建設常任委員会

# 先進地への視察

そうじゃし おかやまし みまさかし にしあわくらそん  
 総社市・岡山市・美作市・西栗倉村(岡山県)・智頭町(鳥取県)  
 ちづらう  
 8月1日～3日

産業建設常任委員会  
 委員長 前川正昭  
 副委員長 石飛慶久  
 委員 大下正幸  
 和田一雄  
 入本和男  
 亀岡等  
 ※委員名簿は8月3日付  
 で掲載

	視 察 地	視 察 テーマ	ま と め
岡山県	総社市／総社吉備商工会 [れんげまつり] 総人口：66,216人 農家数：23,447世帯 (H22国勢調査・H21年農林センサス)	☆農産物の特産化 ☆特産品ブランド化 	・26年前一人の若者の発案 ・当初は、観光名所の景観づくり ・地元ロータリークラブの協力 ・農商連携・耕作放棄地対策の一部 ・地元農産物の特産品開発 ・「もてなし館」の創設
	岡山市／岡山理科大学 [淡水で海水魚を養殖] 総人口：709,622人 農家数：12,691世帯	☆最先端技術による中山間地域における養殖業革命	・低コストで飼育が可能 ・水源があれば、海水魚の養殖が可能 ・天候に影響されない供給体制 ・漁業の工業化 ・好適環境水による養殖業の革命
	美作市／上山棚田再生 [棚田再生] 総人口：30,504人 農家数：3,953世帯 林家数：2,539世帯	☆耕作放棄地の解消	・県下有数の棚田地区 ・田園観光都市づくりの一環 ・美作市のモデル地区 ・外部の力・大手企業の協力 ・再生後の活かし方
	岡山県西栗倉村 [百年の森林構想] 総人口：1,520人 農家数：229世帯 林家数：245世帯	☆行政主体の森林施行計画と6次産業の構築  <p>村長室の家具は村の木材で</p>	・2004年、合併せず村の自立の道を歩む ・村の資源である森林から産業を、そして仕事を生み出していこう ・村民全体に森林から産業へ『心産業』として広がった ・上質な田舎づくり ・市場は東京圏 ・共有の森ファンド／西栗倉森の学校／西栗倉雇用対策協議会
鳥取県	鳥取県智頭町 [木の宿場プロジェクト] 総人口：7,719人 農家数：945世帯 林家数：720世帯	☆間伐材の取り組み 	・『軽トラとチェーンソーで晩酌を』 ・1トン当たり6,000円の通貨小判で買い取り、その通貨小判を地元商店街に還元 ・間伐の促進は成功 ・森林資源を活かした山村再生
	安芸高田市 総人口：31,497人 農家数：4,032世帯 林家数：3,859世帯	[まとめ] 先進的な取り組みをされている自治体は、地域の宝を明確にし、地域リーダーと地域全体が本気で取り組まれている。 現在の所、自治体の取り組みに対する協力が充分にあるが、補助金等の金銭的支援は永続的なものでなく、起業した事業が、自立出来る事が重要である。	

# 葬斎場建設に向けて

## ～24年度末完成をめざす～

【研修報告】

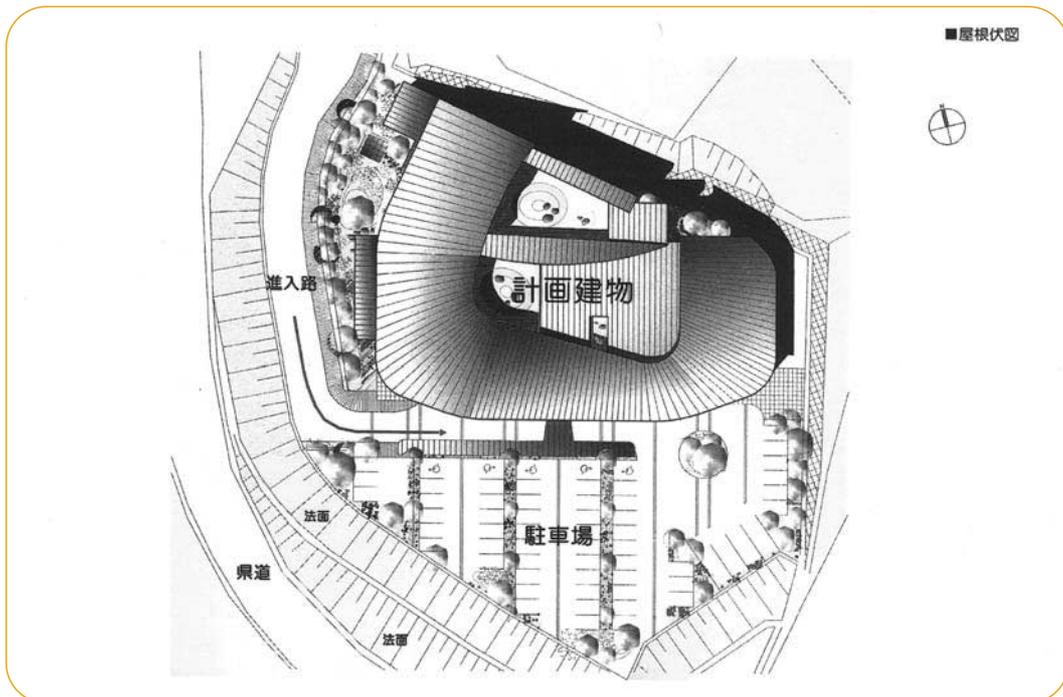
8月29日

### 山口県柳井市・周防大島町・広島市安佐南区の 葬斎場 3 施設を視察

#### 各市の概況

	人口 (人)	世帯 (戸)	建築面積 (㎡)	総事業費 (万円)	供用開始
柳井市 (柳井市斎苑)	35,170	16,072	1,784.69	17億4,400	平成10年4月
周防大島町 (大島斎場)	19,577	10,297	843.65	4億8,900	平成19年4月
広島市安佐南区 (広島市西風館)	233,419	96,417	6,649.00	51億	平成23年3月
安芸高田市 (名称未定)	31,497	13,222	約2,205.00	12億7,300 (概算建設費)	平成25年4月(予定)

- **まとめ** それぞれの人口規模と財政状況を考えながら建設されており、安芸高田市においても、将来の人口予測、死亡者予測、施設運営、維持経費を考慮した建設に向けた対応が必要



安芸高田市葬斎場（仮称）完成見取図

議会改革特別委員会

委員長 山根温子  
副委員長 先川和幸  
委員 前重昌敬  
石飛慶久  
児玉史則  
大下正幸

# 議会をめざして!』

(23年10月4日 第4回定例会)

本特別委員会は、22年第4回定例会最終日に、設置されました。

付託されました案件は、議会改革にかかわる調査のうち、「議員定数について」「議員報酬について」「政務調査費について」の3点です。

この付託されました案件の調査経過と結果を、次のとおり報告いたします。

付託されました案件の調査経過につきましては、23年1月4日から9月13日までの間、17回にわたる特別委員会を開催し、**議会の現状や財政面や地域性**から調査をすすめる、また議員への意見聴取、市民アンケートの実施、各地域振興会連絡協議会との意見交換会の開催、議会報告会における共通テーマとしての報告など、積極的かつ慎重に調査と協議を重ねてまいりました。まず、「**議員定数について**」は、議会の現状からは、さらなる改革が必要で、議会内からも、

議会の権能発揮が、不十分との意見がありました。

また、財政面においては、24年度の議員報酬比率を現状と同じに抑えるには18人、29年度では16人という推計がなされました。

地域性についての協議では、地域の声の反映には、一人ではなく複数の議員のほうが、地域住民にとっては声を伝えやすいという点が強調されました。

具体的な定数削減の数値を考えると、アンケート調査の結果からもわかりますように、議会としての活動が市民から見えるものとなっておらず、議会に対して市民の関心が低いことも問題と捉えられました。

以上のことから、議会がさらなる議会改革と市民参画に向けた取り組みに努め、市民の代表

シリーズ(4)

# 議会改革特別委員会の取り組み 『わかりやすく、開かれた』

【議会改革特別委員会の報告】

として、選挙で選ばれた、市長と議会との二元代表制のもと、地域性を重視しながら、市全体の発展に向けて負託に応えるためには、現時点での議員定数は、**次期選挙より2人削減の18人**が、妥当であると思いました。

次に「**議員報酬について**」は、現在の報酬は、若い世代が、議員として、活動できる生活を保証するには、十分とは言えません。

また財政面からは、議員定数とあわせて考えていく必要があります。市民にとっては、議会活動が見えないなどの課題があるなか、今後、さらなる議会改革をすすめ、議員報酬については、**現行の報酬を、継続**することが、妥当であると思いました。

「**政務調査費について**」は、意見交換会や議会報告会を行うなか、この制度に対する説明が必要であり、ほとんど、理解されていないことが、わかりました。

政務調査費の内容や成果について、公開するなど、情報発信を充実させる検討も、進めていき、委員会では、必要な知識を得て、広聴を行うことなどで、市の将来に向けた、政策提言にも、活かせるものであるため、**現行どおり月額3万円を、交付**することが、妥当であると思いました。

本特別委員会の調査結果が、より市民にわかりやすく、開かれた議会に向けて、議員自らが、改めて議員の役割や責任、議会の権能、さらには倫理観を再認識し、今後より一層、開かれた議会に向けて、有効に生かされることを望み、以上、議会改革特別委員会の調査報告といたします。

〔23年度〕

# 議会報告会実施

## 市民と議会の距離は縮まったか

主催 安芸高田市議会  
7月23日～8月5日

議会報告会に、ご参加いただき、また、貴重な御意見を頂戴しました事、誠にありがとうございました。

### 会場での主な意見など報告します。

会場	高宮会場 7月23日(土) 15:15～17:08	吉田会場 7月23日(土) 19:00～20:35	八千代会場 7月26日(火) 19:00～20:59	美土里会場 7月29日(金) 19:00～20:55	甲田会場 7月30日(土) 19:00～20:33	向原会場 8月5日(金) 19:00～20:32
人数	54人	43人	76人	26人	35人	34人
主な要望・調査依頼など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校規模適正化について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校で悪い評価は何処にあるのか</li> <li>・学校規模適正化を早く</li> </ul> </li> <li>○有害鳥獣対策について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・金網等設置の補正予算の拡大／有害鳥獣の積極的な駆除拡大／郡山の鳥獣保護指定の解除</li> <li>・鳥獣加工施設の安全面は大丈夫なのか</li> </ul> </li> <li>○給食センターについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・食材供給の地元納入が低い／地産地消を増やせるように検討を</li> </ul> </li> <li>○学校給食について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を食べる指導を</li> </ul> </li> <li>○光ファイバーについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に使用料の負担に成るのでは／気軽に使えるように／企業誘致には絶対条件</li> <li>・インターネット利用者だけでなく高齢化のなかで充分検討されているのか</li> </ul> </li> </ul>					
議員定数・政務調査費など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議員定数について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな減を望む／少し減らすべき／3区に分割（美・高、吉・八、甲・向）</li> <li>・議員定数は議員が決めるのか／定数の根拠資料は</li> <li>・定数減になると市民の声が反映出来るのか</li> </ul> </li> <li>○政務調査費について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の状況では政務調査費は不要／チェックは誰がしているのか</li> </ul> </li> <li>○報酬について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活できる報酬に</li> </ul> </li> </ul>					
意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減の一番進んでいる町は／人口増の検討を</li> <li>・議員のモラルを高めてほしい</li> <li>・地域のことも一般質問を／地域のニーズを捉えて活動を／会議は9時からに</li> <li>・道路工事看板で事業の費用対効果の説明を／耕作放棄地のある限界集落の調査は</li> <li>・河川の土砂浚渫要望の状況は／山の地籍調査が進まない</li> <li>・アグリフーズへの債務保証は／支所機能を一つに、行けば全てが解決できるように</li> <li>・お太助ワゴンを土、日曜日でも運行してほしい</li> <li>・行財政改革、財政健全化に取り組むこと／行政改革・議会改革を断行</li> <li>・緊急患者の搬送先について／ふるさと応援の会が分かりにくい／新しい老人施設の状況は</li> <li>・税の過徴収の新聞報道の内容は／固定資産税の前納報奨金は</li> <li>・広島方面からのバス路線の利便性の向上を／同日選挙で2000万円浮くとあったが</li> <li>・市の職員は率先して地域活動に参加を</li> <li>・県道長田農協倉庫前の舗装の修繕要望／テニスコート代替え地を親水公園のところに</li> </ul>					



高宮会場



甲田会場

# 専決処分した事件

## 市税条例の一部を改正する条例

(主に地方税法の改正に伴う文言の修正)

承認

# 工事請負契約の締結

## 安芸高田市葬斎場用地造成工事

一般競争入札(事後審査型) 1億6412万円

契約の相手方 (株)伏光組 安芸高田営業所

(安芸高田市吉田町吉田1841-2)

可決

### 第3回臨時会

8月5日、23年第3回臨時会を開催し、承認(1件)、工事請負契約の締結(1件)を審議し、原案のとおり可決しました。

#### (審議内容)

○安芸高田市税条例の一部を改正する条例(専決事項の承認)

○工事請負契約の締結についてへ安芸高田市葬斎場用地造成工事

#### 質疑

青原 なぜ工事入札前に委員会で協議しないのか。

竹本企画振興部長

当初予算の時に説明している。

水戸 市有地以外に今回新たに用地買収をしたのか。

竹本企画振興部長 従前の市有地内で造成工事をする。



葬斎場用地造成の様子

# ごみの減量は分別で

福岡県内の先進地を  
7月28・29日に視察研修した  
～芸北広域環境施設組合議会(きれいセンター)～

組合議会議員  
藤井昌之  
入本和男  
青原敏治  
秋田雅朝  
前川正昭



リユース品を販売

- (1)北九州市  
エコライフプラザ  
(運営)  
NPO法人  
(内容)  
●エコ商品の販売  
●ワークショップ開催  
●リユース品の引取、低価格販売  
●広報紙発行、イベントの開催
- 視察後のまとめ  
○広報紙も定期的に発行している  
○スーパーで取り組めば「エコ」と「地産地消」になる  
○各振興会、民間でも取り組める



蛍光管をリサイクル処理

- (2)北九州エコタウン  
(内容)  
●公害克服から環境都市へ  
●エコタウン事業の展開  
●市のごみの削減への取り組み  
(平成15年度1人1日705gが、23年度には506g、199gの減量で23億円経費削減している)  
●家電リサイクル(テレビ、冷蔵庫、蛍光管、水銀等)
- 視察後のまとめ  
○分別、回収体制整備の検討が必要である  
○きれいセンターもごみの分類を増やす工夫が必要である



紙おむつをパルプに

- (3)ラプフォレスト  
大牟田  
(内容)  
●使用済み紙おむつを水溶化処理により、パルプ・プラスチック・汚水に分離して回収する事業  
●目標は紙おむつから紙おむつへのリサイクルで、民間企業や自治体とタイアップし、紙おむつのリサイクルを全国へ
- 視察後のまとめ  
○全国的にも例のない取り組みで、注目に値する  
○ノウハウの提供を受け、当市に同種工場の建設は可能である

- 視察後のまとめ  
○既成概念にとらわれないまちづくりを進めている  
○町の中心部に、隣接する産直市とレストランがある  
○振興会単位の導入もひとつの案である

- (4)おおき循環  
センターくるるん  
(内容)  
●大木町の特色は人口14,500人で、住民と協働による合併しないまちづくり「子ども時代」にツケを残さない「身の丈に合った施設整備で、下水処理は全て合併処理浄化槽で対応し、太陽光発電の普及促進をしている  
●ごみ減量化への取り組みでバイオガスプラントを整備し全戸で「生ごみ」分別収集を開始、ごみの22分別により28年には焼却・埋立をゼロに計画している

# 議会のうごき 23年7月～10月の報告

■ 23年7月20日から10月17日までの議会の活動状況は次のとおりです。

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
7	20	水	全員協議会	23年度議会報告会について
	22・27		議会広報特別委員会	議会だより第30号の編集・校正について
	27	水	議会運営委員会	23年第3回臨時会の運営について
8	5	金	第3回臨時会	承認1件、議案1件（審議・採決）
			葬斎場建設調査特別委員会	
	11	木	議会運営委員会	23年第3回定例会の運営について
	19	金	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
9	2	金	議会運営委員会	23年第3回定例会の運営について
	5・13		議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	9	金	第3回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	12・13		第3回定例会（一般質問）	質問者12人
	16	金	予算常任委員会	付託議案審査10件（一般会計補正予算等）
	20	火	総務企画常任委員会	所管事務調査
	21	水	文教厚生常任委員会	所管事務調査、教育長報告、陳情審査
	22	木	産業建設常任委員会	市長報告
	26～28		決算常任委員会	22年度会計決算審査14件
	30	金	葬斎場建設調査特別委員会	葬斎場の基本配置図について
10	4	火	第3回定例会（閉会）	決算認定14件、議案10件、発議3件
	7	金	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	7、17		議会広報特別委員会	議会だより第31号の編集について

■ 23年第4回定例会は12月初旬から下旬の開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

## 議員の禁止事項(公職選挙法抜粋)

### ～ 年賀状などのあいさつ状の禁止 ～

公職選挙法第147条の二に『公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者（公職にある者を含む。）は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）を出してはならない。』とされています。

### ～ 寄附の禁止 ～

公職選挙法第199条の二に『当該選挙区内にある者に対し、お祭り、会合、スポーツ大会、親睦旅行などで「寄附やお祝い」「入学・卒業等の祝い金」「飲食物の差し入れ」また「病気見舞」「入学・卒業等の祝い金」「お中元やお歳暮」など、いかなる名義をもってするを問わず寄附をしてはならない。』とされています。

これらの禁止事項に違反した場合、処罰の対象となります。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

# 地域のかがやき

## 吉田 のびのびと元気に



吉田幼稚園運動会 10月2日

## 八千代 継承される子ども神祇



勝田常磐神社 10月9日

## 美土里 地域のお店



桑田の庄に雑貨店

## 高宮 巻きずし 今年は211mに挑戦



たかみや大地の祭り 10月23日

## 甲田 多文化共生チーム(中国人研修生) がんばれ



こうだわいわい祭 10月9日

## 向原 長寿を祝う和太鼓 (向原こぼと園児)



向原町敬老会 10月22日

### 編集後記

何処からか金木犀きんもくせいの花の芳香が漂う。遠くで百舌もすが鳴いた、早々と南下してきたのだろう。

北海道から初冠雪の便り、野山の色づきと伴に晩秋の気配が五感を包む。東日本大震災から七ヶ月、冬將軍を迎える被災地の現状に思いを馳せ心が痛む。

島根原発関連で島根県は放射線監視体制を強化し、広域的に放射線量を測定し公開するためモニタリングポストを増設した。県境に接する本市も安穩としてはいらぬまい。行政施策の展開において選択と集中を徹底し不測の事態に対応できる底力を蓄えるべきである。

二元代表制の一翼を担う我々地方議員の責任は重い。この豊かな大地を後世に引き継ぐために。

△発行責任者△

議長 藤井 昌之

△議会広報特別委員会△

委員長 穴戸 邦夫

副委員長 石飛 慶久

委員 前重 昌敬

委員 水戸 眞悟

委員 山本 優

委員 亀岡 等